

<p>第 14 回 (2013.1.28)</p>	<p style="text-align: center;">総合演習 北村由美准教授(附属図書館)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所：学術情報メディアセンター南館 203 ・ 出席者：30 名 補助 6 名 <p>■「インターネット情報およびデータベースとその活用法」演習の課題解説（10 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット演習の課題について、補助者より解説を行った。 <p>■総合演習「レポート・論文の形式：参考文献リストの作成」講義内容（30 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引用・参考文献リストの概要学術情報のサイクルと評価 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 引用・参考（参照）文献リストの役割 ➤ 引用・参考文献リストをどう書くか ➤ 参考文献リストの代表的な形式 ➤ 各形式を学ぶための参考資料 ➤ 参考文献リストのフォーマット ・ 投稿先と執筆要領 <ul style="list-style-type: none"> いくつかの執筆要領の実例を例示した ・ インパクト・ファクターの探し方 <ul style="list-style-type: none"> JCR の利用方法を示した ・ 文献管理ツールの紹介 <ul style="list-style-type: none"> Refworks を紹介した <p>■実習（50 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の専門分野の和文誌および英文誌を選び、選択の際に参考にした DB 等の情報と選んだ理由を記述する ・ JCR を使い、上記英文誌（該当がない場合は任意のタイトル）の IF および同分野で最も IF の高いタイトルを調べる ・ 上記和文誌の発行母体と投稿規定を探す ・ KULINE や DB 等で和・英論文、和・英単行書、ウェブサイトの計 5 種の文献を選択し、上記の投稿規定に従って、参考文献リストを作成する（適切な投稿規定がなかった場合は、「SIST02」に拠る。参考のため、「参考文献の役割と書き方」の URL を示し、また希望者用に同小冊子を用意した。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 演習課題解答用紙は Word ファイルで作成し、「情報探索入門」Web サイトに「総合演習」ページを設け、当日リンクを設定した。提出期限は、当日授業終了時までとした。 ※ 全体アンケートにて、フォローアップアンケート対象者を次のとおり募集した（「半年後、1 年後に本授業で学習した内容が皆さんの学習・研究に役だったのかなど簡単な質問項目をメールにてお送りしますので、メールアドレスを記載して下さい」）。なお、望ましい開講時期や授業 Twitter アカウントの認知についても尋ねた。 <p style="text-align: right;">（記録：赤澤 久弥）</p>	